

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月11日 更新

事務事業名		地球温暖化等対策事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせ るまちづくりの推進		<input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」 の構築		<input type="checkbox"/> 産業の共生による市経 済の持続的発展		
総合 計画 体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	市民生活部	課長名	合志 義浩		
	施策	19	脱炭素・地球温暖化対策の推進			所属課	環境衛生課	担当者名	尾ノ上明日美、鍋島一紗、大久保一		
	業務分野	62	地球温暖化対策の推進			所属班	環境衛生班	(内線)	1142		
予算科目		会計 一般	款 4	項 1	目 7	事業連番 10180	法令根拠	地球温暖化対策の推進に関する法律 合志市廃棄物の処理及び清掃に関する条例			
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	地球温暖化対策に向けた関心を深め、市民及び事業所の意識改革を図るための啓発、施策を実施していく。令和3年3月に熊本連携中枢都市圏を構成する18市町村で地方公共団体実行計画書(区域施策編)を共同で策定し、更なる高度化・効率化・多様化による地球温暖化対策等を推進する。令和4年度に「合志市地球温暖化防止実行計画書(事務事業編)及び合志市エネルギービジョン」の改訂を行い(法令で策定義務有)、令和5年度を脱炭素元年として令和7年度までの3年間集中的に取り組むこととしており、その一環として令和5年度から脱炭素推進対策補助金制度を導入した。 ごみ減量やりサイクルの推進を図り、循環型社会の実現を目指すため、関係機関と連携してエコまつりを開催している(同様のイベントは平成15年度から実施しており、平成26年度より効果的な集客のため、市民まつりと同時開催)。
【業務の流れ】	令和5年度から令和7年度までの3年間限定で脱炭素推進対策補助金の支給を市民向けに行う。県から委嘱されている地球温暖化防止推進員3名と協働で、地球温暖化防止に取り組む活動に必要な環境学習資材を購入する。 省エネ法・温対法に基づくエネルギー使用量・温室効果ガス排出量算定・報告業務を行う。 市民まつりの開催に合わせ、エコまつりの計画・運営(会場等の手配、協力団体との出展内容打合せ、広報・周知、会場設営及び撤収、設営委託契約事務、エコまつり開催、支払い事務、実施報告)
【主な予算費目】	職員手当(時間外)、需用費(消耗品費)、役務費(通信運搬費)、委託料、負担金補助及び交付金

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

令和6年度脱炭素推進対策補助金の交付を行った(実績:205名、236件、補助額10,800,000円)。脱炭素・地球温暖化対策推進委員を各課に配備し、節電やりサイクルの推進などをはじめとした各種エコオフィス活動を行った。エコまつり実行協議会を2回開催(うち1回は書面開催)し、令和6年11月3日開催の市民まつりと同時開催し、11団体が出店した(市民まつり参加者数:11,000人)。以上の成果として、合志市の温室効果ガスの排出削減を行うことができた。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

熊本連携中枢都市圏実行計画(区域施策編)及び合志市地球温暖化防止実行計画書(事務事業編)及び合志市エネルギービジョンに基づき、脱炭素・地球温暖化対策を推進していく。また、脱炭素推進対策設備設置補助金の受付・審査・支給事務、熊本連携中枢都市圏への負担金の支払い事を行う。エコまつりについては合志市市民まつりと同時開催を予定しており、開催に向けた実行協議会を開催する。

③予算の主な増減の理由

熊本連携中枢都市圏で策定している「地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」の改定業務に伴う負担金の増

成果指標

ア	市役所における温室効果ガス排出量の削減割合(基準年度:平成25年度)	%	熊本県事業活動温暖化対策実施状況報告書より
イ	エコまつり参加者数	人	市民まつりと同時開催でエコまつり参加者数の把握が困難のため、市民まつりの参加者数の2割をエコまつり参加者数とする

(2)成果指標・総事業費の推移		単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
成果指標	ア	%	20.2	24.6	35	35.9	38	41	43	45
	イ	人	2,400	2,200	2,000	2,200	2,000	2,000	2,000	2,000
事業費	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
一般財源	千円	8,264	11,791	12,476	11,900	11,598	1,362	1,362	1,362	
(A)事業費計	千円	8,264	11,791	12,476	11,900	11,598	1,362	1,362	1,362	

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

啓発機会の合志市エコまつり等イベントが開催でき、出前講座等でも啓発を行った。今後も熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画を基に、地球温暖化防止活動推進員と連携を図りながら、エコまつりの実施と環境学習活動等を実施する。また、脱炭素推進対策補助金交付を実施することにより、市民も温室効果ガス排出削減を行うことができた。

(4)今後の事業の方向性

廃止     縮小     事業のやり方改善     現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)